

地域の健康増進とセルフメディケーション 推進への薬剤師の関与

座長
日本薬剤師会理事
亀山貴康
埼玉県薬剤師会理事
武笠真由美

健康寿命が延伸する中、病気の治療だけでなく、日常生活での健康維持と病気の予防が重要となり、薬局には、処方箋調剤だけでなく、地域住民への健康教育や生活習慣病予防、O T C医薬品の適切な使用指導などの健康サポート機能を発揮することが求められている。本分科会では、それらの課題に薬剤師がどのように関与できるかを多角的に検討し、具体的なアプローチを考察する。

はじめに、「ここからはじめる！薬剤師のための臨床推論 意図して病歴・バイタル・身体所見をとりに行くために」の著者で日本内科学会総合内科専門医である、北海道科学大学薬学部客員教授の岸田直樹先生から「薬局での症候別トリアージ」(仮)と題して、地域住民の初期症状に迅速かつ適正に対応するための基本と実践などを解説しながらご講演いただく。

次に、日本薬剤師会会長の岩月進先生から「地域包括ケアとO T C医薬品」と題して、薬局薬剤師は、地域住民のために専門職として何ができるのか、どのような役割を果たすべきなのかを改めて考え、地域包括ケアシステムの完

成に向けた中、調剤のみならず、薬局の持つ本来の機能をどのように実践していくかについて、薬剤師の未来と薬局の本質を含めてご講演いただく。

また、新潟薬科大学薬学部社会薬学研究室の富永佳子教授から「管理栄養士との連携推進のために薬剤師ができること」と題して、栄養ケア・ステーションや地域ケア会議で管理栄養士と薬剤師の互いの業務の理解の重要性和、一歩踏み出すために必要な知識や学習リソース、課題洗い出しのための質問例などについてご講演いただく。

さらに、地域の健康サロンにキッチンカーで出向き、地域住民に向けて健康サポート活動を行っている秩父郡市薬剤師会営おがの薬局の町田一美先生から「地域に向けた健康サポートー薬剤師＋キッチンカー」と題して、そのユニークなアイディアで地域住民の楽しみと集まるきっかけを作った、地域住民に寄り添う健康サポートの具体的な実践例とその成果についてご講演いただく。

最後に、パネルディスカッションでは、講演者と参加者が意見を交換し、地域の健康増進とセルフメディケーション推進に向けたアクションプランを模索する。多職種との連携や地域住民へのアプローチ方法についてのディスカッションは、参加者にとって大きな刺激となることを期待する。

(亀山貴康)

海外で彩とりどりに活躍する薬剤師

座長
日本薬剤師会常務理事
堀越博一
春日部市薬剤師会理事
高橋清哲

本分科会では、海外で医療に従事する薬剤師の重要性と役割について深く学ぶ。

まず、J - T O Pによる米国テキサス大学M Dアンダーソンがんセンターでの研修を通じて得た知見や海外の医療環境と日本との違いについて取り上げる。また、薬剤師がエビデンスの作り手として積極的な役割を果たすことについても探求する。

次に、医療I C T先進国であるエストニアの事例を紹介する。エストニアでは、厚生労働省が計画している医療D Xが10年以上前に実現した。デジタル処方箋の普及により、薬剤師を含む医療従事者の働き方や意識が大きく変

化した。このような先進国における薬剤師の役割や貢献についても詳しく探究する。

さらに、自然災害や大規模な紛争、人道危機の多発によって医療援助が必要とされる場面も増えている。こうした緊急事態において、薬剤師は医薬品の管理や使用方法の専門家として緊急医療救援チームの一員として重要な役割を果たす。

実際に紛争地で活動した事例も取り上げ、薬剤師の活動の意義や経験についても考察する。

本分科会で海外の医療に関わって活躍する薬剤師の役割について学び、海外での医療活動に興味を持つ薬剤師や、国際的な視野を持ちたい方々に対し、実践的な知識と洞察を提供する。海外での医療に関わる意義や可能性について一緒に考えてみたい。

(高橋清哲)

分科会の見どころ・ 聞きどころ

関連記事
8～11、14～16面

チームで関わるACP、 チームで支えるスピリチュアルケア

座長
日本薬剤師会副会長
荻野構一
埼玉県薬剤師会地域医療推進委員会
副委員長
中根直子

本分科会ではA C P (Advance Care Planning) についての支援の方法等を学ぶ機会を提供する。

将来の人口動態予測から在宅医療の需要がますます増大していき、薬剤師もこれまで以上に退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取りの各ステージでその役割を担うこととなるが、特に看取り期における緩和医療等への参画では、多職種と連携してA C Pに関わることが予想される。薬剤師の中ではなかなかA C Pの理解が浸透していない状況で、さらなる理解を深めていく必要がある。

はじめに、「アドバンスケアプランニングの実際」と題してのご講演を東京大学大学院人文社会系研究科生成額・応用倫理センター会田薫子先生からいただき、A C Pの臨床実践の実現を一層可能とし、適切なA C Pの取り組みのための方法等についてご解説をいただく。

次に、「人生会議において薬剤師ができること」と題してのご講演を社会福祉法人愛光園老人保健施設相生の西川満則先生からいただき、薬剤師とし

て関われるA C Pやチームとして関わるA C Pについて薬剤師であり医師でもあるご経験からご解説いただく。

後半では医療法人社団澄乃会向日葵クリニック中村明澄先生から「多職種連携で繋ぐA C Pに基づくケアの実際」と題してのご講演をいただき、全ての専門職が本人の価値観や治療やケアに反映させるという視点の大切さ、その価値観をチームで共有し反映させていくことの大切さについてご解説いただく。

最後に、B F Cふれあい薬局飯能店の池田里江子先生から「地域とともにA C Pを考える」と題してご講演いただき、薬局薬剤師のお立場でご地元ので立ち上げられた「多職種連携座談会ワールドカフェ」を通して多職種で自由に話し合う場を作ったご経験をもとに、様々な職種のどんな方でも一緒に支えあう中でA C Pを考えるきっかけを作ってこられたご経験から解説をいただく。

A C Pの取り組みについては薬剤師は遅れていると言われている中で、極めてナイーブなことを含むA C Pについて、その患者さんに関わる全ての職種と薬剤師が一緒になって参加することは大変有意義なことであり、積極的な取り組みが求められていることを理解いただき、進めていただく良い機会になる分科会になれば幸いである。

(荻野構一)

JAPIC 医療用医薬品集 2025

2024年9月発売



- ◇ 国内流通全医療用医薬品の最新で正確な電子添付情報をお届けします。
- ◇ 約50年の編集実績による信頼と使いやすさ。
- ◇ 2024年6月後発品まで収載。
- ◇ 一般名の五十音順で項目を配置し、先発品と後発品の効能・用法の違いを一目で把握できます。医薬品の選択にご活用下さい。
- ◇ 「薬剤識別コード一覧」を収載。
- ◇ 更新情報メールの無料提供 (要登録) 。
- ◇ CD-ROM付。
- ◇ 分冊にて制作し、本文が見やすく・調べやすくなりました (ケース入り) 。

ISBN: 978-4-86515-235-7 B5判 約 4,700 頁(本文) 価格 14,300 円(税込)

編集・発行 一般財団法人 日本医薬情報センター JAPIC
FAX 0120-181-461 TEL 0120-181-276

改訂新版 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集～第5集



- ◇ 厚生労働省・独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載の重篤副作用疾患別対応マニュアル第1集から第5集(平成19年7月から平成23年7月までに発行)の改訂された内容と新規マニュアルが掲載された書籍です。副作用の回避、診断・治療、早期発見にご活用ください。

■ 第1集掲載マニュアル
ステイヴンス・ジョンソン症候群 / 中毒性表皮壊死融解症 / 間質性腎炎 / 急性腎障害 など

B5判 各集 価格 2,112円 (税込) ※ 本冊子は直販のため、書店では販売しておりません。

発売 丸善出版株式会社
FAX 03-3512-3270 TEL 03-3512-3256